

鹿児島県感染症情報

2022年 第34週報 (8月22日~8月28日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、8月28日時点の届出総数は250298例となりました。県は「BA.5対策強化宣言」を9月30日まで延長することとしました。2学期が始まり、学校活動の再開にあわせて子ども達への感染拡大が懸念され、また、秋の行楽シーズン等で人の往来も多くなります。引き続き、感染防止に努めてください。

(8/3~9/30)

**BA.5
対策強化宣言**

みなし陽性の適用…新型コロナウイルス感染症の陽性者の同居家族等が有症状となった場合、検査等を行わず、医師が臨床症状で診断する「みなし陽性」を臨時的に導入します。**コロナ・フォローアップセンター鹿児島**の開設…8/29から自宅療養者を対象とした健康観察・相談対応・生活支援物資の配送などを開始します。

県は、全力をあげて、新型コロナウイルス感染症の感染防止や医療提供体制の確保に向けた施策の取組を推進します。皆様も新型コロナウイルス感染症に対する強い危機感を今一度共有していただき、ご自身だけでなく、大切な家族や友人、周りの方々の健康や命を守る行動をとってください。

右図には、県内の最大確保病床の使用率を示しています。受入病床については、現在754床を確保し、8月24日時点で病床使用率が60.5%と依然として高い水準で推移しています。

次頁下段には県内の新規感染者数の推移と60歳代以上の占める割合を示しています。新規感染者は、3000人から4000人台と高い水準で推移し、特に、高齢者の割合は、7月は15%でしたが、8月には20%を超える水準になっています。



第34週の定点報告疾患の報告数をみると、手足口病の流行発生警報域が県内にはなくなりました。インフルエンザの報告が9人ありました。保健所別では名瀬（7人）、鹿児島市（2人）で、年齢別では10~14歳（7人）、30~39歳（2人）です。全数報告疾患の届け出数をみると、梅毒は第34週時点で89例となっています。

☆一~五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核2例（肺結核1例，無症状病原体保有者1例）
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1例（血清型別/毒素型：O157/VT1VT2(1例)）
四類感染症	日本紅斑熱1例
五類感染症	梅毒3例，急性脳炎1例，追加ウイルス性肝炎(B型)1例（第32週），梅毒1例（第33週），後天性免疫不全症候群1例（第33週）
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症26722例

☆定点報告疾患の発生状況

- ・ 今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点 **92**，小児科定点 **54** です。
- ・ 第34週の定点把握対象疾患の総報告数は254人で、前週より12人少ない報告数でした（4頁参照）。
- ・ **流行発生警報**の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所
該当なし
- ・ **流行発生注意報**の基準値以上の保健所

【水痘（基準値1.0）】：指宿(1.00)

☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第34週の感染性胃腸炎の報告数は105人で、前週より24人少なく、定点当たりの報告数は1.94であった。

年齢別では、1歳（17人）、10～14歳（14人）、3歳（10人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（5.62）、加世田保健所（2.00）、鹿屋保健所（1.80）の順に多い。

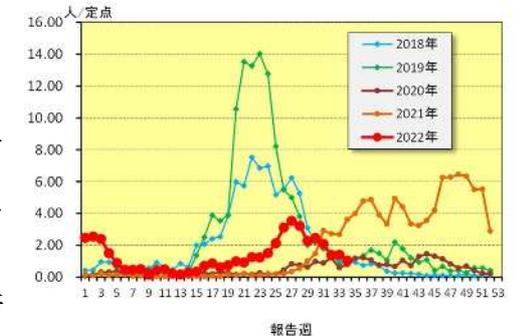


(2) 手足口病

第34週の手足口病の報告数は56人で、前週より20人少なく、定点当たりの報告数は1.04であった。

年齢別では、1歳（23人）、2歳（13人）、6～11ヶ月、3歳（それぞれ7人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所（3.20）、鹿児島市保健所（1.77）、志布志保健所（1.33）の順に多い。

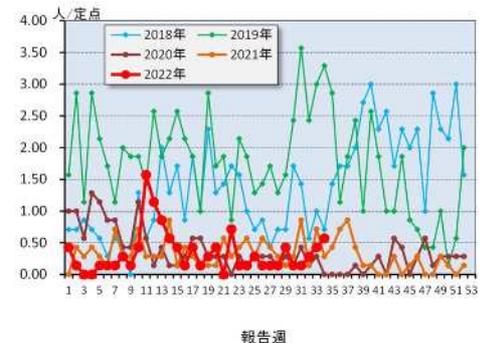


(3) 流行性角結膜炎

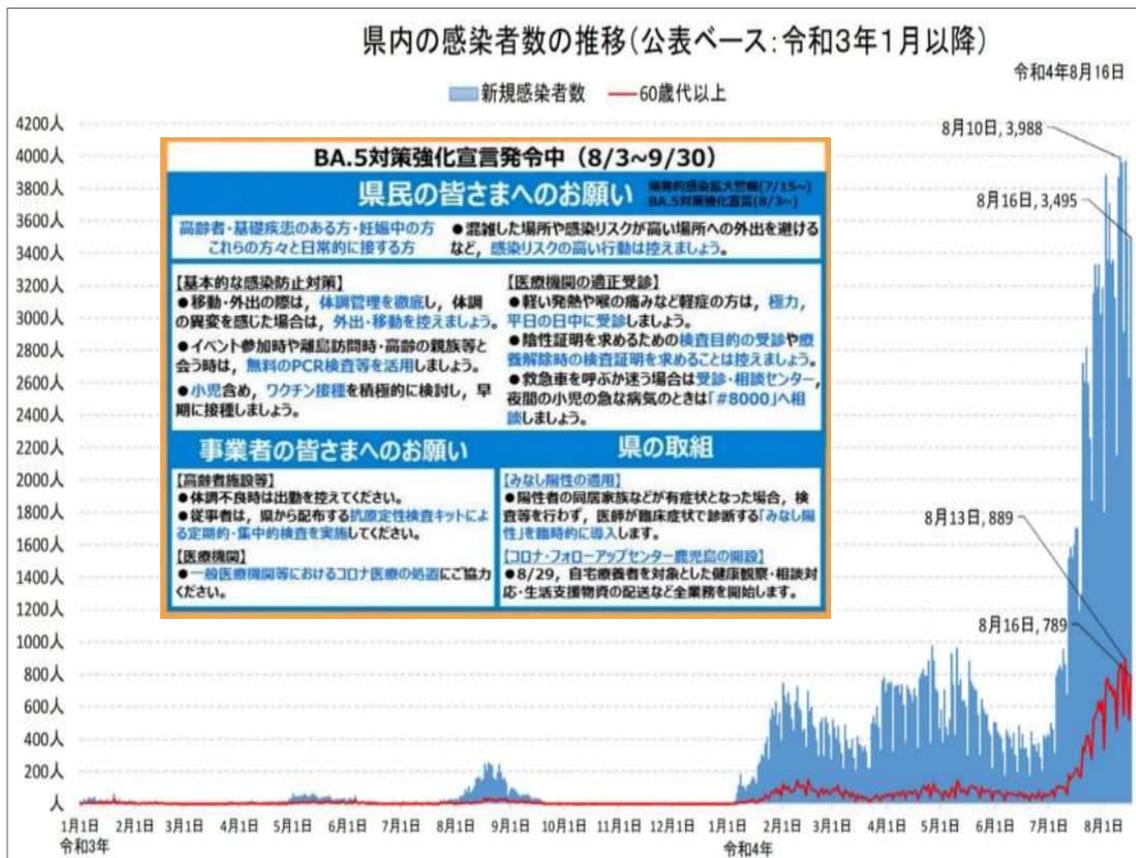
第34週の流行性角結膜炎の報告数は4人で、前週より1人多く、定点当たりの報告数は0.57であった。

年齢別では、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳（それぞれ1人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所（4.00）のみであった。

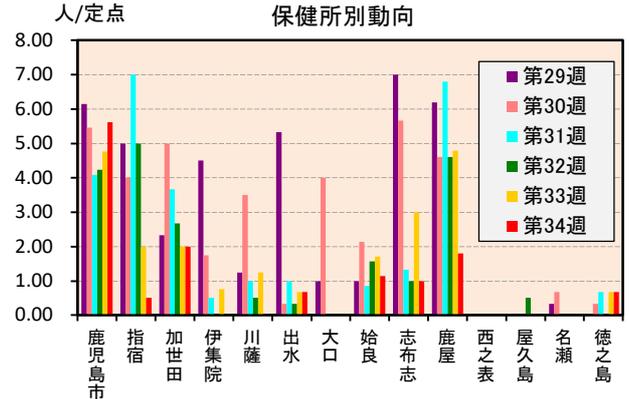
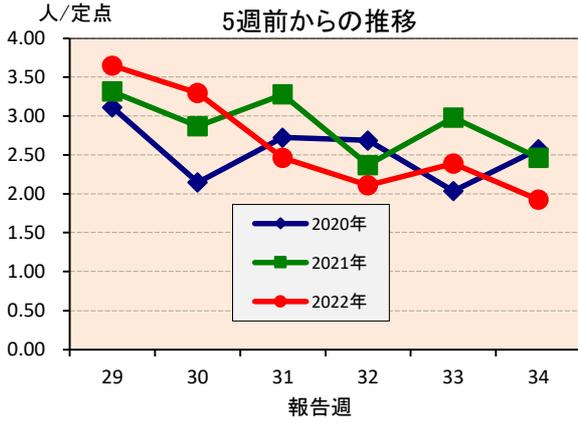


【新型コロナウイルス感染症関連情報】

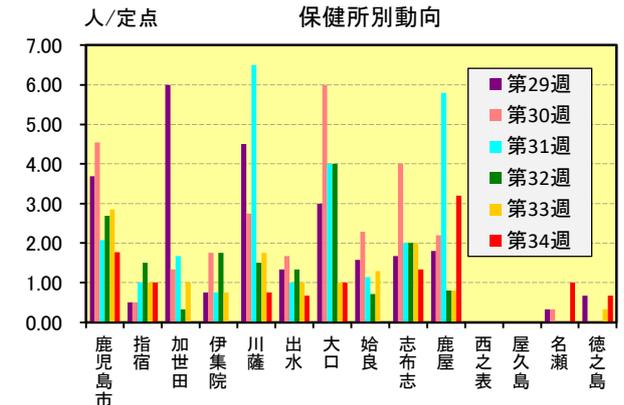
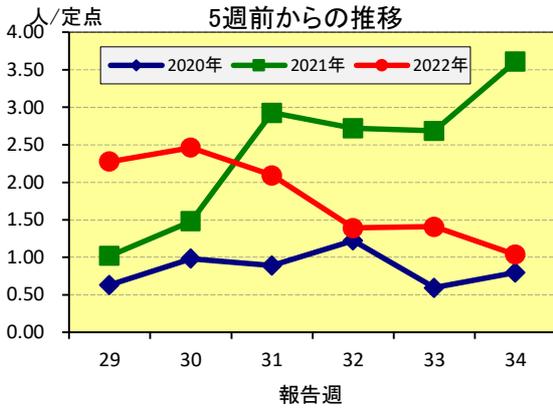


☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

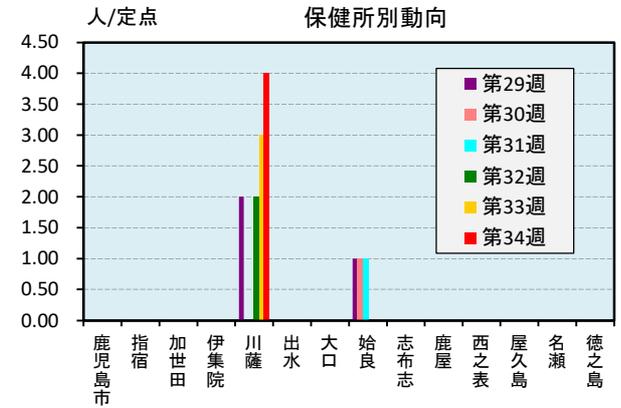
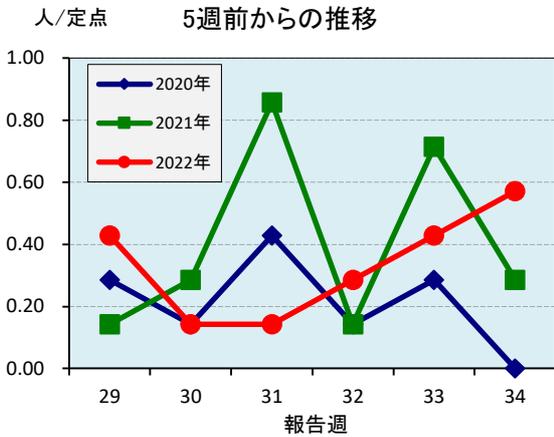
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

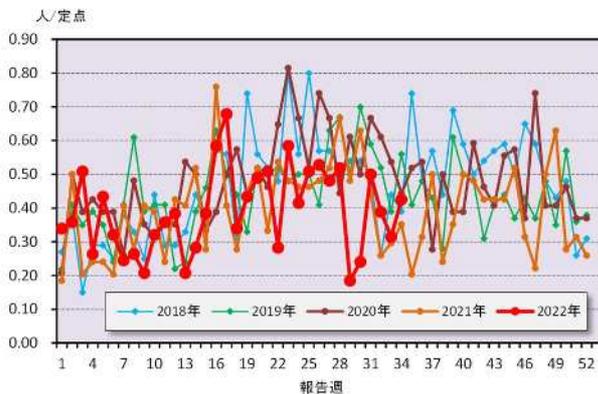


(3) 流行性角結膜炎

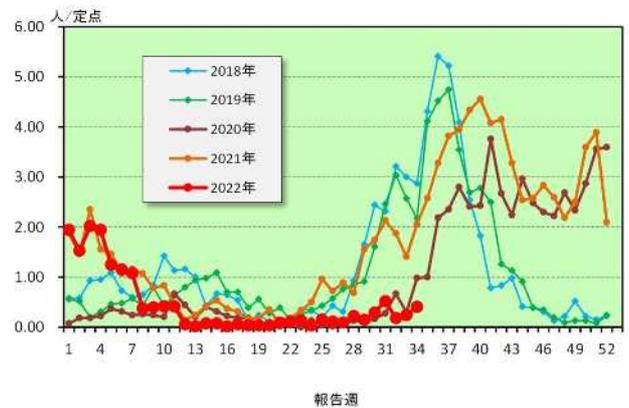


☆注目される感染症の発生状況

★ 突発性発しん（鹿児島県）



★ RSウイルス感染症（鹿児島県）



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第34週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当たり	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	○ インフルエンザ	9	0.10	21
小児科定点	咽頭結膜熱	3	0.06	969
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.07	576
	感染性胃腸炎	105	1.94	11,446
	○ 水痘	5	0.09	140
	手足口病	56	1.04	2,400
	○ 伝染性紅斑	1	0.02	19
	○ 突発性発しん	23	0.43	707
	○ ヘルパンギーナ	20	0.37	313
	流行性耳下腺炎	2	0.04	76
	○ RSウイルス感染症	22	0.41	833
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	○ 流行性角結膜炎	4	0.57	81
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	2
	無菌性髄膜炎	-	-	8
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	4
報告数合計		254	0	17,595

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2022年29週)	4週前 (2022年 30週)	3週前 (2022年31 週)	2週前 (2022年32 週)	1週前 (2022年33 週)	今週 (2022年34週)
インフルエンザ	報告数	-	-	1	-	-	9
	定点当たり	-	-	0.01	-	-	0.10
RSウイルス感染症	報告数	8	16	28	10	13	22
	定点当たり	0.15	0.30	0.52	0.19	0.24	0.41
咽頭結膜熱	報告数	18	18	7	8	5	3
	定点当たり	0.33	0.33	0.13	0.15	0.09	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6	12	4	4	6	4
	定点当たり	0.11	0.22	0.07	0.07	0.11	0.07
感染性胃腸炎	報告数	197	178	133	114	129	105
	定点当たり	3.65	3.30	2.46	2.11	2.39	1.94
水痘	報告数	2	3	3	1	2	5
	定点当たり	0.04	0.06	0.06	0.02	0.04	0.09
手足口病	報告数	123	133	113	75	76	56
	定点当たり	2.28	2.46	2.09	1.39	1.41	1.04
伝染性紅斑	報告数	-	-	1	-	-	1
	定点当たり	-	-	0.02	-	-	0.02
突発性発しん	報告数	10	13	27	21	17	23
	定点当たり	0.19	0.24	0.50	0.39	0.31	0.43
ヘルパンギーナ	報告数	25	17	18	8	13	20
	定点当たり	0.46	0.31	0.33	0.15	0.24	0.37
流行性耳下腺炎	報告数	2	1	-	2	2	2
	定点当たり	0.04	0.02	-	0.04	0.04	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	3	1	1	2	3	4
	定点当たり	0.43	0.14	0.14	0.29	0.43	0.57
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	-	-	-	0.08	-	-

